



西中学校だより

令和7年 2月13日
東久留米市立西中学校

学校評価アンケートより

校長 小川 高弘

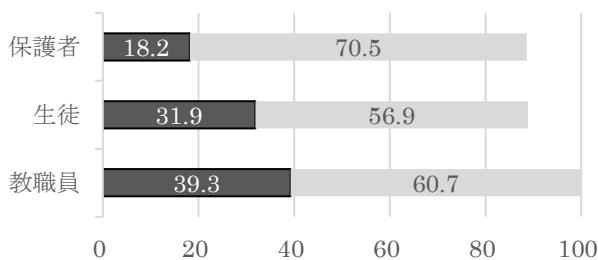
3学期が始まってから約1カ月が過ぎました。1・2学期と比べて3学期は短く、登校日数は53日しかありません(3年生は49日)。この短い期間に、学年のまとめとして、学年末考査、合唱コンクール、学習発表会に取り組みます。3年生は同時に、自分の進路という、これまでの人生で一番大きな選択に向き合います。すでに、私立高校・都立高校の推薦入試、私立高校一般入試は終了し、2月21日の都立高校第一次・分割前期の学力検査と続きます。これまでの自分が身に付けた力を発揮して、自分の進路を自分の力で切り拓いてもらいたいと願っています。インフルエンザ等の感染症も油断できません。3年生だけでなく誰もが、手洗い・うがいをはじめとする感染対策にも意識を向けましょう。

保護者の皆様には、2学期末に学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果がまとまりましたので報告いたします。今回のアンケートは、昨年度までと質問項目を変更し、保護者・生徒・教職員の三者に同じ質問をし、三者の意識を比較するものとなりました。それぞれの立場で感じること・見えることに違いが表れています。生徒と教員だけの学校ではなく、保護者や地域との連携を深めた西中学校を目指していきたいと思っています。

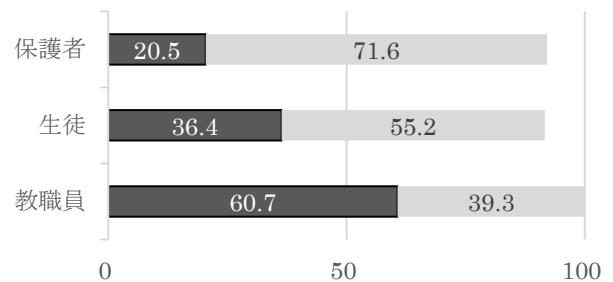
集計したグラフは、紙面の都合上、「とてもそう思う」「そう思う」の肯定的評価のみを示しました。黒い棒グラフが「とてもそう思う」、灰色の棒グラフが「そう思う」を表しています。2本を足したものが肯定的評価であり、100%に足りない部分が否定的評価と「わからない」となっていますので、グラフが右に長いほど、肯定的評価が多いことになります。

昨年度からインターネットを利用したアンケートを実施していますが、紙で配布・回収しました一昨年度よりも、回収率が大きく下がってしまいました。回収率を上げる工夫も考えていきたいと思っています。

【人権尊重教育】学校は、自他を大切に
する態度を養い、生命尊重・人間尊重の
精神をもつ生徒を育てていると思いま
すか？



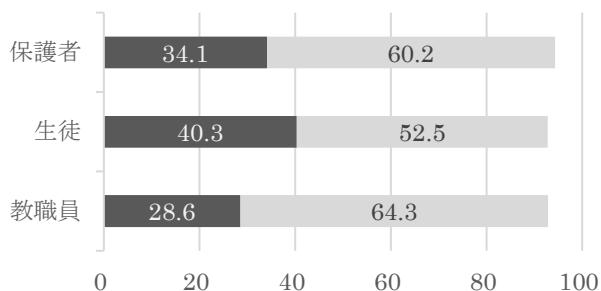
【道徳教育】学校は、他者や集団との正
しい関係づくりを通して、道徳的な判断
力と実践力を育てていると思いま
すか？



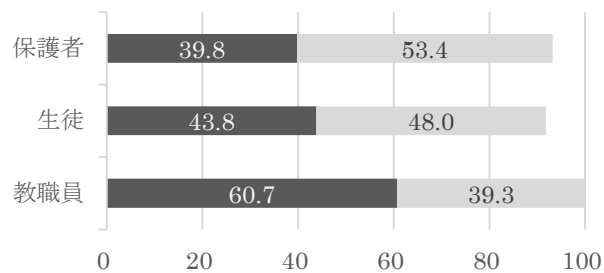
【人権尊重教育】「特別の教科道徳」だけでなく、朝礼や学級活動でも、人権尊重教育に取り組んでいます。12月の全校朝礼では、「人権週間」について取り上げました。

【道徳教育】「特別の教科 道徳」を中心に、「自分に関すること」「人との関り」「集団や社会との関り」「生命や自然、崇高なものとの関わり」の視点で取り組んでいます。

【規範意識】学校は、生徒の服装や通学態度、授業を受ける姿勢、挨拶や返事などの指導に努めていると思いますか？



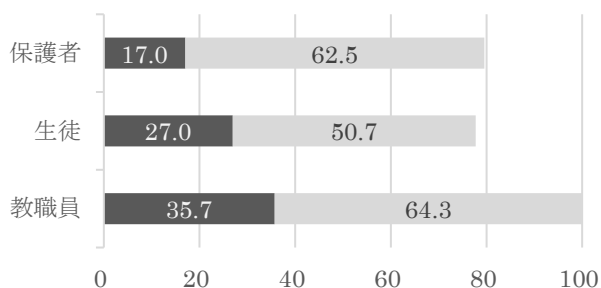
【体験活動】学校は、運動会や合唱コンクール、宿泊行事など学校行事や委員会活動などを工夫し、生徒の自己肯定感・自己有用感をそだてていると思いますか？



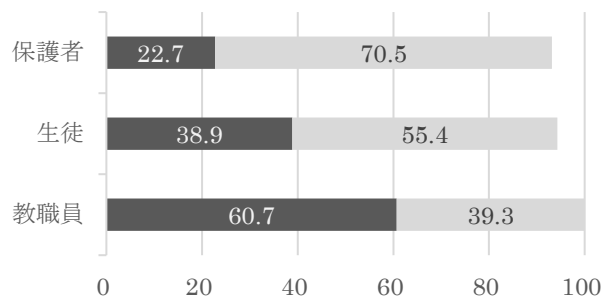
【規範意識】三者ともに、肯定的評価が90%を超えています。外部からのお客様からも、「あいさつができる学校」と褒めていただくことが多くあります。

【体験活動】多くの生徒が、行事に熱心に取り組み、全校行事は盛り上がります。生徒が自分で考えて行動し、役割を果たす行事を目指しています。

【いじめ防止】学校はいじめ防止に努めていると思いますか？



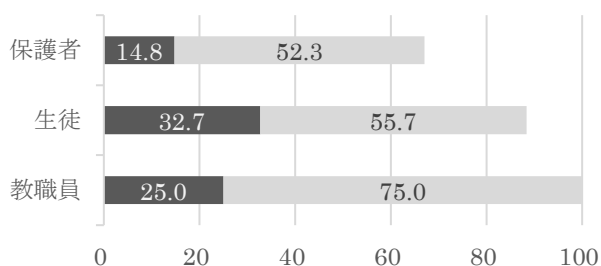
【健やかな体】学校は、心身における健康の保持増進のための健康・安全に関する学習に努めていると思いますか？



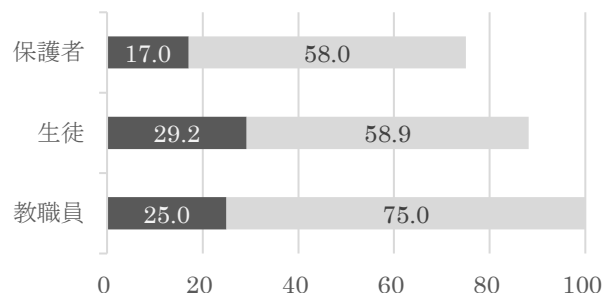
【いじめ防止】学期に1回、学校生活アンケートを実施、いじめの早期発見・早期対応に取り組んでいます。いじめが起きた場合には、担任だけでなく、組織で対応します。保護者・生徒の肯定的評価はどちらも80%以下で、教職員の認識とズレがあります。

【健やかな体】定期健康診断、薬物乱用防止教室、がん教育等、健康に関する学習にも取り組んでいます。1年生は、東京大学の先生から生活習慣病の予防するための生活について授業を受けました。

【授業の工夫・改善】教員は、到達目標を明確にし、学習の振り返りを行い、わかりやすい授業や楽しい授業を行っていると思いますか？



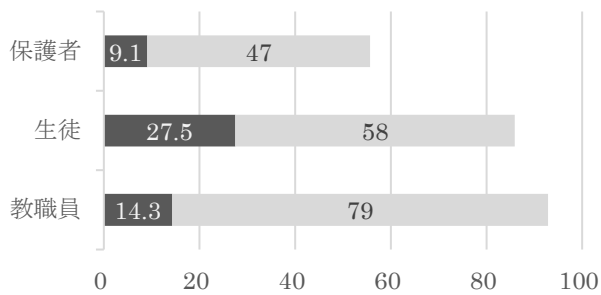
【適切な評価・評定】教員は、適切な評価活動を通して、生徒が主体的・対話的で深い学びのできる学習を進めていると思いますか？



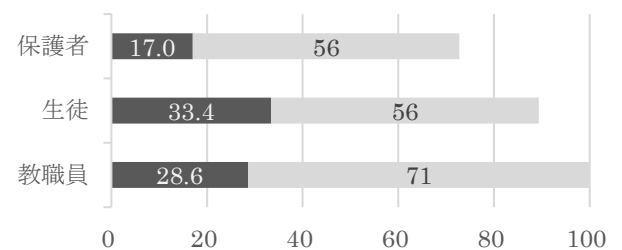
【授業の工夫・改善】毎時間、その授業の到達目標を明示し、授業終了時に、「何ができたようになったのか」振り返る時間を設けています。50分間の授業の流れを明らかにすることで、見通しをもって授業に参加できるようになっています。保護者の肯定的評価が低いのは、コロナ禍以降、授業参観の機会が減り、「わからない」が多いことも原因の一つと考えられます。

【適切な評価・評定】学年の初めと学期末には、授業内で評価・評定について説明しています。形成的評価を活用し、途中の指導を大切にしています。

【ICT】教員は、GIGAタブレット等、ICTを効果的に活用した授業を行っていると思いますか？



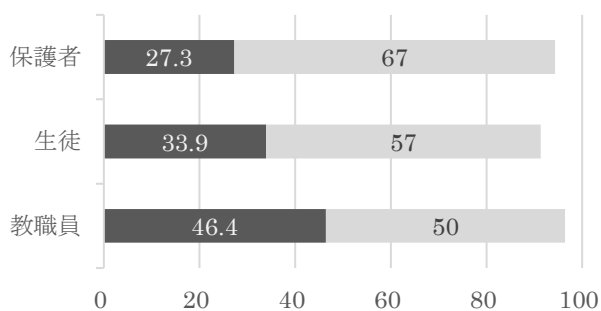
【基礎・基本】教員は、生徒の基礎・基本を伸ばす授業を行っていると思いますか？



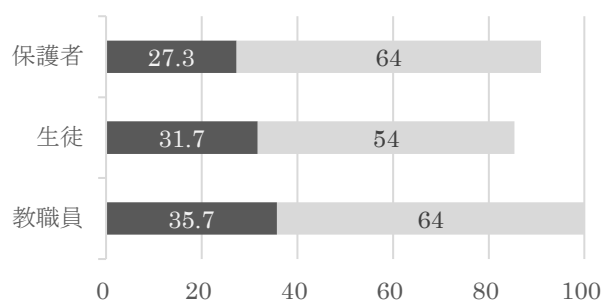
【ICT】教材の配布や拡大表示などには、どの教科でもタブレットを活用しています。話し合い活動のツールや発表用スライドの作成と活用、レポート作成など、使用場面を拡大していきます。タブレットを活用している場面を見ていただく機会を増やしていきます。

【基礎・基本】数学と英語は少人数指導を実施し、基礎・基本を伸ばすための指導法の工夫・改善に取り組んでいます。また、数学は習熟度別に2学級を3展開し、理解度に合わせた授業も行っています。

【学校生活】生徒は、学級活動・生徒会活動に生徒が主体的に参加し、役割を果たすなど社会性を育成していると思いますか？



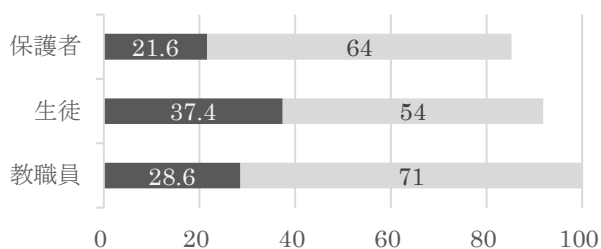
【個性尊重】学校は、生徒の良さや努力を見つけ、励まし、理解しながら伸ばそうとしていると思いますか？



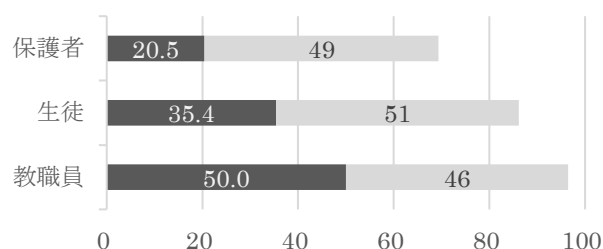
【学校生活】年2回の生徒総会や毎月の生徒会朝礼では、専門委員会から活動方針や活動報告が出され、どの活動も充実していることが分かります。

【個性尊重】運動部活動だけでなく、文化部の活動、作文や標語のコンクールの結果等、朝礼や学校だよりで紹介しています。

【安全・安心の対策】学校は、生徒の安全確保や安全対策について配慮をしていると思いますか？



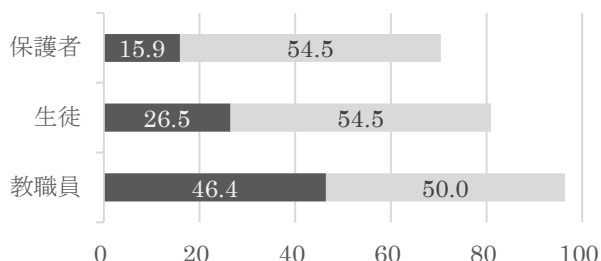
【特別支援教育】学校は、特別支援教育に対して組織的な対応に努めていると思いますか？



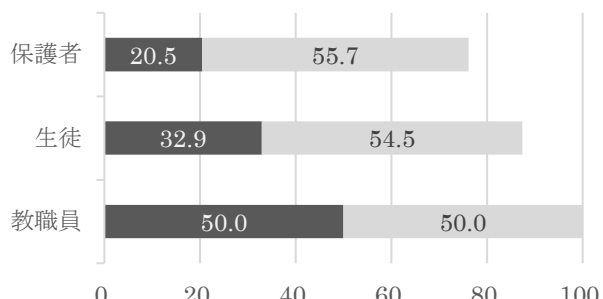
【安全・安心の対策】月に1回の避難訓練では、地震・火事・不審者侵入など、内容や発生時間を変えて、多様な事態を想定して実施しています。いざというときに、自分の身は自分で守れる人を目指しています。

【特別支援教育】通常学級と特別支援学級が、交流して活動する場面を設けています。また、特別な支援を必要とする生徒への支援を検討する校内委員会も定期的を開催しています。

【教育相談】学校は、教育相談活動に力を入れ、組織的な対応に努めていると思いますか？



【進路指導】学校は、生き方について考えさせ、社会への参加を意識させて、よりよい進路の実現への支援をしていると思いますか？



【教育相談】学期に1回実施している「学校生活アンケート」を活用し、担任だけでなく、他の教員、養護教諭、スクールカウンセラー等、誰にでも相談できる体制を整えていきます。

【進路指導】1年生での「身近な人の職業調べ」、2年生での「職場体験」等を通して、職業観や勤労観を育てています。3年生では、卒業後の進路を自分で選択できるように指導しています。

輝け！ 西中 部活動等の活躍！

(敬称略)

【ハンドボール部】

令和6年度第20回春の全国中学生ハンドボール選手権大会東京都代表決定戦

男子 西中 25-20 ハ王子ユナイトHC

全国大会 令和7年3月25日～ 富山県氷見市 出場決定

【第26回酒折連歌賞100選】

アルテア部門 (小・中・高校生の作品を対象)

問いの片歌 「大丈夫 霊峰富士の声が聞こえる」

特選 2年A組 押岡 凌佑 答えの片歌 「雨音で仲間の心聞こえなくとも」